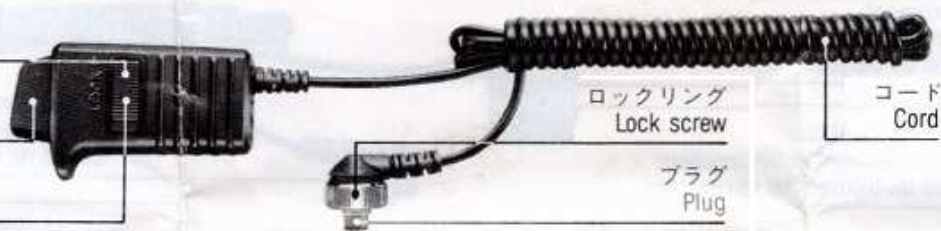


押しボタンロックレバー
Trigger lock lever

押しボタン
Trigger

レバーロックボタン
Lock button



はじめに

このたびは、ニコンリモートコードMC-12Aをお買い上げいただきありがとうございます。

リモートコードMC-12AはモータードライブMD-4、MD-15、F4s、F-801、F-501、F-301用のリモート撮影用コードです。カメラに装着したMD-4、MD-15あるいはF4s、F-801、F-501、F-301カメラと接続して、コード長の範囲内(約3m)でカメラから離れてMC-12Aの押しボタンの操作により撮影が行えます。またMC-12AにはF4s、F-801、F-501、F-301、F3シリーズ、FAカメラの測光回路用のスイッチが入っていますから、MC-12Aの押しボタンを半押しすることにより、露出表示の確認が行えます。MC-12Aには押しボタンロック機構を設けてありますので、MD-4、F4s、F-801、F-501、F-301と使用するとき長時間露光が片手で操作できます。

モータードライブ、カメラへの取り付け

MC-12Aのコード先端にあるプラグ部の凹みと、MD-4、MD-15、F4s、F-801、F-501、F-301カメラのリモートターミナル内にある位置決め用の突起とを合わせて、プラグをリモートターミナルへ差し込み、ロックリングを時計方向に止まるまで回して固定します。

撮影

MD-4、MD-15、F-501、F-301カメラのS-CリングをSまたはCにセットし、またF4sの給送モードセレクトダイヤルをS、CH、CL、CSに、F-801のフィルム給送モードをS、CH、CLにセットします。MC-12Aの押しボタンを押しますと一コマ撮り、または連続撮りの撮影が行われます。なお撮影前に露出表示の確認を行うときは、MC-12Aの押しボタンを半押しにしますと、カメラのファインダー内に露出表示が現われます。露出表示は半押しタイマー作動中表示されます。露出表示が消えた場合は、再度半押しすると、表示が再び現われます。

- MD-4では半押し状態のままでも約16秒経過すると露出表示が消えることがありますが、この場合も、リリースは可能です。露出表示が消えた場合は、一度ボタンから指を離して再度半押しすると、表示が再び現われます。
- F4s、F-801、F-501カメラをオートフォーカスで使用する場合はMC-12Aの押しボタンを半押しすると測光回路のONと共にAFレンズが駆動されます。

長時間露出

ニコンF4s、F-801、F-501・F-301カメラおよびモータードライブMD-4にMC-12Aを接続した場合、押しボタンロックレバーを操作することにより、長時間露出が片手で操作できます。まずF4s、F-801の露出モードをMにセットし、シャッタースピードダイヤルを"B"にセットします。MC-12Aのレバーロックボタンを押しながら、押しボタンロックレバーを、LOCK▶の方向へ止まるまでスライドさせておきます。次に押しボタンをいっぱいまで押して手を離すと押しボタンはロックされます。任意の時間経過後に、レバーロックボタンを押しながら押しボタンロックレバーをLOCK▶と逆の方向へスライドさせると、ロックが解除され押しボタンは元に戻り、長時間露出は完了します。

その他

F4sやF-801などのボディーに専用マルチコントロールバック(F4sにMF-23、F-801にMF-21など)を装着して、フォーカスプライオリティ機能で撮影を行う場合、MC-12Aのロックレバーをご使用になると、カメラから離れてシャッターをリリースする時などに便利です。

モータードライブMD-12を使用する場合

MC-12AはMD-12と接続することも可能ですが、MD-4、MD-15、F4s、F-801、F-501、F-301カメラ専用で作られているため、MD-12と使用する場合は、次の点にご注意ください。

- MC-12Aを接続しますとMD-12の電源スイッチをONにすると同時に、露出計のスイッチは入ったままとなり、MD-12の電源タイマーは作動しません。
- MD-12の電源スイッチを入れ、MC-12Aの押しボタンを半押し状態(MD-4、MD-15、F4s、F-801、F-501、F-301カメラでは測光回路がONになる位置)にしますとMD-12は作動します。